

## 世田谷区・川場村縁組協定40周年記念式典・シンポジウムの実施報告について

### 1 主旨

昭和56年11月に川場村と区民健康村相互協力に関する協定（縁組協定）を締結し、令和3年11月に40年を迎えたことから、40周年を記念した式典と都市部と農山村部における自治体間の交流に関するシンポジウムを開催したので報告する。

### 2 実施概要

#### (1) 開催日

令和3年11月28日（日）午後1時～午後4時40分

#### (2) 会場

東京農業大学 横井講堂

#### (3) 参加者数

124名

### 3 実施内容

#### (1) 記念式典

①世田谷区長・川場村長挨拶

②来賓祝辞（世田谷区議会議長、川場村議会議長、東京農業大学長）

③縁組協定40周年記念宣言書の署名（別添え 宣誓書のとおり）

#### (2) シンポジウム

テーマ：「都市と農山村の交流」

①基調講演 澁澤 寿一（NPO 法人 共存の森ネットネットワーク 理事長）

②パネルディスカッション

パネリスト：基調講演講師：澁澤 寿一

総務省：地域力創造審議官 馬場 竹次郎

農林水産省：林野庁次長 織田 央

川場村長：外山 京太郎

世田谷区長：保坂 展人

コーディネーター：宮林 茂幸（東京農業大学 客員教授）

### 4 その他

記念式典及びシンポジウムは、12月下旬から「せたがや動画（YouTube 区公式チャンネル）」にて配信予定。

## 宣誓書 ～縁組協定締結40周年を迎えて～

昭和56年11月に世田谷区と川場村で「区民健康村相互協力に関する協定」を締結して、今年で40年を迎えた。

世田谷区は、区民健康村を拠点にした区立小学校の移動教室や交流事業を通じて、区民の「第二のふるさと」づくりを進めてきた。「友好の森」事業による森林保全活動や、東日本大震災を契機にした「再生可能エネルギー」への取組みなど、川場村の地域資源を活用した事業を進めている。

川場村は、「田園理想郷」を目指し「農業プラス観光」に林業を加えて、環境に配慮した誰もが住みやすいむらづくりと農林業を守る取組みを推進している。

移動教室や交流事業は、2020年に世界規模で大流行した新型コロナウイルス感染症により、中止を余儀なくされたが、ふるさとを想う世田谷区民と親戚を慕う川場村民の相助の関係はより深まりを増した交流になって、川場村の恩恵や交流の大切さをあらためて認識した。

縁組協定40周年を迎え、世田谷区と川場村の熱意ある深い想いにより積み重ねてきたこれまでの交流が多くの方々に支えられてきたことに感謝し、これからも住民同士、自治体同士が力を合わせて、誠実な信頼関係を堅持し、縁組協定の理念を次世代に継承するため、以下の内容を推進し、今後も未来に誇れる交流を続けていくことをここに宣誓する。

1. 私たちは新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえて、「with コロナ」時代に合わせた生活様式の下で、新たな交流による文化・価値を創造していきます。
2. 人口減少社会を見据えて、気候危機や災害対策など一自治体では解決できない様々な地域の課題に対して、都市部の世田谷区と農山村部の川場村の強みを生かした連携を一層強化し、持続可能な地域社会の実現を目指していきます。

3. 芸術、スポーツ、学術など世田谷区の特長ある資源を活かした多様な文化交流を一層発展させるとともに、川場村の生活・文化・歴史を通じた多彩な交流事業の継続と、美しいふるさとや田園理想郷を体験する新たな交流を深め、健康交流の郷づくりをすすめます。
4. 「第二のふるさと」づくりの原点である村の豊かな自然環境や美しい田園風景は、農林業の活動により維持されている。これらを守るため相互に協力し多様な事業を展開していきます。
5. 友好の森事業の理念に基づき、区民と村民の共通理解のもと森林環境の保全・整備を推進することで、木材の有効活用を促進すると同時に災害に強い自然環境づくりに取り組みます。
6. 次代を担う世田谷区と川場村の子どもが、相互の理解と友情を深め、豊かな感性と健全な成長を育む交流の機会を創出します。
7. カーボンニュートラルやSDGsに配慮した交流をすすめ、共助による安心・安全なふるさとづくりをすすめます。

令和3年11月28日

世田谷区長

川場村長